

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
京都市立病院

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2008年

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.1.4)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.5
Q1 室内環境			0.40					3.4
1 音環境		3.3	0.15	3.3	1.00			3.3
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00			
設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		3.8	0.40	3.9	0.40			
1 開口部遮音性能	新館T-2以上とした計画	5.0	0.40	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	0.60	4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	0.20			
2 温熱環境		2.7	0.35	2.6	1.00			2.7
2.1 室温制御		3.7	0.50	3.5	0.50			
1 室温設定	夏期・冬期において24℃が可能な室もある	4.0	0.38	4.0	0.57			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43			
4 ゾーン別制御性	冷暖フリーを基本とする	4.0	0.38	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20			
2.3 空調方式	天井カセット方式を主体とする	1.0	0.30	1.0	0.30			
3 光・視環境		3.0	0.25	3.5	1.00			3.2
3.1 昼光利用		3.0	0.30	3.0	0.30			
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	0.60			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.30			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15			
1 照度		3.0	1.00	3.0	1.00			
2 照度均斉度		-	-	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	5.0	0.25			
4 空気質環境		4.7	0.25	4.6	1.00			4.6
4.1 発生源対策		5.0	0.50	5.0	0.63			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆規格品同等以上を採用	5.0	1.00	5.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		4.0	0.30	4.0	0.38			
1 換気量	建築基準法および建築物衛生法の換気量の1.2倍を導入	4.0	0.50	4.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	-	4.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮	給気、排気は同一方位あり	4.0	0.50	4.0	0.33			
4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-			
2 喫煙の制御	建物内禁煙	5.0	1.00	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.6
1 機能性		3.4	0.40	4.6	1.00			3.9
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.60	5.0	0.60			
1 広さ・収納性		3.0	-	5.0	1.00			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		4.0	0.40	4.0	0.40			
1 広さ感・景観	病室天井高 2.6M	3.0	-	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-			
3 内装計画	照明と一体となった内装計画(実施設計)、パース・病室モックアップ作	4.0	1.00	4.0	0.50			
1.3 維持管理		-	-	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	-	-	-			
2 維持管理用機能の確保	維持管理に配慮した諸室、スペース、機器	4.0	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.4	0.31	-	-			3.4
2.1 耐震・免震		3.4	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能	免震構造の採用	5.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.1	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	更新間隔11年以上20年未満	4.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	耐用年数が短くなるであろう系統にはガルバリウム等のダクト材料を採	4.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.3 適切な更新			-	-	-	-
2.4 信頼性			4.2	0.19	-	-
1	空調・換気設備	熱源2重化、重要諸室の換気、空調を優先	5.0	0.20	-	-
2	給排水・衛生設備	節水器具、排水貯留、井水利用、ろ過器	5.0	0.20	-	-
3	電気設備	発電機有、無停電電源装置有、重要系の幹線2重化有	5.0	0.20	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-
3 対応性・更新性			3.4	0.29	3.5	1.00
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	4.0	0.50
1	階高のゆとり	低層部階高4.0M・4.5M、病棟階高3.8M	5.0	0.60	4.0	0.60
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.11(低層部、病棟共)	4.0	0.40	4.0	0.40
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-
2 まちなみ・景観への配慮		市街地型美観形成地区の条例に合致	4.0	0.40	-	-
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	2500㎡以上の緑地広場、歩道の新設	4.0	0.50	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上	緑地面積20%以上確保	4.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-
1 建物の熱負荷抑制		PAL値を240.6に抑制した計画	5.0	0.30	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-
3 設備システムの高効率化		ERR=23	4.0	0.30	-	-
4 効率的運用			4.0	0.20	-	-
4.1	モニタリング	BEMS有	4.0	0.50	-	-
4.2	運用管理体制	施設運用・保全の基本方針が計画されている	4.0	0.50	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-
1 水資源保護			3.8	0.15	-	-
1.1	節水	節水型器具の採用	4.0	0.40	-	-
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.6	0.60	-	-
1	雨水利用システム導入の有無	屋根面降雨水を雑用水として再利用している	4.0	0.67	-	-
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.63	-	-
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	高炉セメント	4.0	0.20	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	エコマークを取得したビニル床材の一部使用	3.0	0.20	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	OA707、可動間仕切りの一部採用	4.0	0.24	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.8	0.22	-	-
3.1	有害物質を含まない材料の使用	化学物質を含まない材料の採用	5.0	0.32	-	-
3.2	フロン・ハロンの回避		3.3	0.68	-	-
1	消火剤	ハロンを使用しない消火方式の採用	4.0	0.33	-	-
2	断熱材		3.0	0.33	-	-
3	冷媒		3.0	0.33	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-
1 地球温暖化への配慮		PAL値を300以下、CEC/AC値を2.3以下に抑制した計画	4.7	0.33	-	-
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-
3	交通負荷抑制	駐輪場700台、駐車場270台、サービスヤード駐車スペース確保	4.0	0.25	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-
1	騒音		3.0	0.50	-	-
2	振動		-	-	-	-
3	悪臭		3.0	0.50	-	-
3.2 風害、日照阻害の抑制			2.3	0.40	-	-
1	風害の抑制		2.0	0.70	-	-
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-